

## 総括担当 2 班 報告書

徳力幹彦（班長）、唐木英明、局博一、伊藤勝昭、品川森一、土井邦雄、種池哲朗、梅村孝司、内藤善久、山根義久、佐々木伸雄、平井克哉、原田悦守、立山晋、坂本紘、植村興、政岡俊夫、酒井健夫、

### 目的

獣医学教育の理念、社会・地域・大学・他学部との関係、畜産教育への協力、総合大学と単科大学の意味について検討する。

### はじめに

獣医学教育の理念等は、大学基準協会から平成 9 年 2 月に出版された「獣医学教育に関する基準」、あるいは東の地方大学 4 校の代表が平成 9 年 6 月に出版した「獣医学教育・研究に関する理想像」で十分検討されているので、この班では、国立、公立、私立の獣医大学・獣医学部・獣医学科の教育改善について、議論を深めた。これが以下の 4 回にわたる議事録にまとめられている。また、獣医学教育の理念が先進国ではどのように具体化されているかを直接調べるためには獣医学科の教官に先進国の獣医大学・獣医学部を視察してもらうことが最良であること、および他学部との関係、畜産教育への協力等を具体化するためには、先進国の獣医大学・獣医学部の現況を、獣医学科以外の農学部の教官に視察してもらうのが最適との考えに基づいて、米国と欧州の獣医大学・獣医学部を視察したが、その報告もここにまとめられている（資料 1、資料 2）。

### 第一回科研費総括担当二班委員会議事録

日 時： 平成 11 年 8 月 30 日 13:30-16:30

場 所： 東京大学農学部 7 号館 405 号室（4 階）

出席者： 委員長： 徳力幹彦（山口大）

委員： 品川森一（帯畜大）、梅村孝司（北大）、内藤善久（岩手大）、佐々木伸雄（東大）、山根義久（農工大）、平井克哉（岐阜大）、坂本 紘（鹿児島大）、植村 興（大阪府大）、酒井健夫（日大）、政岡俊夫（麻布大）、唐木英明（東大）、局 博一（東大）、伊藤勝昭（宮崎大）、土井邦雄（東大）、種池哲朗（酪農学園大）、松山 茂（日本獣医師会）（17 名）

### 議題

#### 1. 報告事項

1) 委員長より、国公立大学獣医学協議会で獣医学科再編整備を実行することが決議されてからすでに2年半近く経過しており新聞等でも取り上げられていること、および独立行政法人化を含む大学の改革が急ピッチで進みつつあるということを考慮して、再編整備運動の結論を急ぐ必要があることが指摘された。これらを踏まえて、この委員会の目的は以下の通りとすることが提案された。

(1) 国公立・私立獣医学部・学科の状況の調査を行うとともに、獣医学教育改善のための理念と方向を明らかにして、その具体的方法についての研究を行うこと。

(2) 再編整備運動における基本的課題の研究を行うこと。

2) 国公立大学獣医学部・学科の再編整備運動におけるこれまでの経過が報告された。

帯畜大： 現在のところ、自助努力の可能性はない。再編整備案はこれまで他学科に非公式に説明してきているが、9月から大学内で検討を開始する予定である。

岩手大： 農学部長からの示唆で以前からあった学部創設準備委員会において再編問題を学部レベルで討議が出来るようになった。その具体案の一つとして講演会の開催を企画し学部教官の獣医学再編への理解を深めようとしている。

農工大： 他学科・他学部と協力する自助努力案を提出し、現在は学部長に一任している。

岐阜大： 農学部の再編整備案を検討中。この過程で獣医学科の再編整備が浮上してくるのを期待している。

鳥取大： 現在、将来計画委員会の小委員会にて、いくつかの選択肢を検討中である。この過程を経過しないと先に進めない状況にある。(原田委員欠席のため委員長が説明)。

山口大： 去年11月に、他の3獣医学科が同様の条件を農学部からもらってくれば、九大と交渉してよいという条件を農学部にも認めてもらった。現在、2獣医学科が同様の条件をもらってくるのを待機中である。

宮崎大： 九大でプラスの概算を出す場合には、宮崎大からマイナスの概算をだす。その内容を別途協議することに農学部が同意している。現在は県への説明資料を作成している。

鹿児島大： 鹿児島大学は農学部将来構想委員会の下部組織として動物系教育、研究に関する専門部会を設け、その中で獣医再編問題を含め検討をしている。動物系新学科の中で獣医学教育の充実がはかれないか(自助努力での解決)。これらを検討し、もし獣医が九大へ統合移転する以外方法がない場合に動物系教育の後退をいかに最小限に押さえるか、等について検討をしている。将来構想委員会へ10月中に専門部会からの答申を行う予定である。

北大： カリキュラムの見直しや授業評価などの自助努力をしている。他大学とは話し合いはしていない。

東大： 自助努力は臨床教育を考えると困難である。

大阪府大： 地方財政の厳しいなか、自助努力で基準協会の基準をクリアーするのは困難である。しかし何らかの解決策を模索したい。

種池委員： 私学は国立大再編が速やかに実現することを期待している。しかし、その動きが遅すぎるし、西と東との差がありすぎる。この再編が結実しなかったら、「もの笑い」となるだろう。また、独立行政法人化/ブロック化の動きで、国立大と私立大との垣根が低くなるのではないか。

酒井委員： 学生の就職先が急激に変化してきているので、日大ではそれに合わせて教育改善を考慮中であるが、再編整備を国立よりも先行させるのは現在のところ困難である。ただし、中期的には基準協会案に近づけるために改善目標を立てている。

政岡委員： 麻布大では臨床教育充実のために獣医臨床センターが開設する。しかし、財政問題がからんでくるので、更なる改革の動きは鈍い。

唐木委員： この科研費は獣医の再編整備に関する調査費と認識して欲しい。また、獣医学教育の改善を実行できるのは我々自身しかいないという点に留意して欲しい。今後、外部評価というかたちで縛りが来る可能性がある。

委員長： 大学の管理運営権が現在のように学部教授会にある場合には、農学部で議決された事項は評議会や学長によって否決される恐れはほとんどないこと、学長はいずれも獣医学科を出すことに反対であるが学部の自治が生きているかぎりには農学部の議決は認めざるを得ないこと、しかし、学長・学部長サイドに管理運営権が移されると、農学部の目玉となりつつある獣医学科の放出は極めて困難となることが予想されるので、この運動を急ぐ必要のあることが指摘された。

## II. 協議事項

予定されていた協議事項は時間がなく、議論できなかったが、各大学では獣医学科と地域とのつながりが具体的にどのようなものであるかをデータ化すること、できれば次回の委員会にこのデータを持ってきて欲しいとの要請が委員長からあった。

### 第2回科研費総括担当二班委員会議事録

日時： 平成11年10月15日 10:00-12:00

場所： ホテルサンルート熊本（5階会議室）

出席者： 委員長： 徳力幹彦(山口大)

委員： 品川森一(帯畜大)、喜田 宏(北大)、内藤善久(岩手大)、佐々木伸雄(東大)、山根義久(農工大)、平井克哉(岐阜大)、原田悦守(鳥取大)、立山 晋(宮崎大)、坂本 紘(鹿児島大)、酒井健夫(日大)、政岡俊夫(麻布大)、種池哲朗(酪農学園大) (14名)

議題

## I 議事録の承認

第1回議事録が一部を修正して承認された。

## II 報告事項

### 1. 各獣医学科と地域との結びつきに関する資料

委員長から地元を納得させるために必要な資料と考えて要請されたが、資料の分類方法、その使用方法について議論があり、今後各獣医学科が必要とあれば、独自に収集することにし、第2班としてはまとめないことになった。

## III 協議事項

### 1. 目的

#### 1) 獣医学教育の理念

#### 2) 獣医学部・学科と社会、地域、大学、他学部、農学部との関係

#### 3) 畜産関連学科との関係

#### 4) 諸外国獣医学部との比較

#### 5) 獣医学部・学科の再編整備、なかんずく、国公立獣医学科再編に関する理念の構築

以上の5項目に関しては、委員長がたたき台を作り、それを基に議論することになった。

### 2. 畜産関連講座との関係について

(1) 畜産関連講座からは毎年約1,800人の学生が卒業しており、これらの学生の就職も含めて畜産関連講座は危機感をもっており、畜産と獣医との合流を目指す動きも一部にはある。したがって畜産関連講座との話し合いが必要であるとの意見も合った。

(2) 獣医学科と畜産学科が農学部内に併存しているところでは、獣医学科が出ていく場合にはこれまで獣医学科の教官が負担してきた畜産関連授業の補充が問題となっており、誠意をもった話し合いが必要との意見もあった。

(3) 獣医学科の再編整備が終了後、畜産学科と話し合いを始めるべきとの意見もあった。

### 3. 13年度概算を目指すことについて

大学の独立行政法人化の急展開を踏まえて再編運動の13年度概算を目指すという決議が国公立大学獣医学協議会で決まったことに対して、東と西の再編運動の今後の進め方について、東は、困難ではあるが1,2月ごろにはめどを立てたいとのことであり、西は、12月から九大との交渉を始めたいとのことであった。

4. 科研費を用いて、米国の獣医大学協会ならびに獣医大学を視察する案が委員長より報告され、各委員に視察に同行する人選の依頼があった。

## IV その他

### 1. 次回開催日時

未定

### 第3回科研費総括担当二班委員会議事録

日 時： 平成 12 年 2 月 4 日(金) 14:30-17:00

場 所： 東京大学農学部 7 号館 (405 号会議室)

出席者： 委員長： 徳力幹彦(山口大)

委員： 品川森一(帯畜大)、昆 泰寛(北大)、内藤善久(岩手大)、小野憲一郎(東大)、山根義久(農工大)、平井克哉(岐阜大)、原田悦守(鳥取大)、立山 晋(宮崎大)、坂本 紘(鹿児島大)、大橋文人(大坂府大)、種池哲朗(酪農学園大)、野上貞雄(日大)、赤堀文昭(麻布大)、唐木英明(東大)、局博一(東大)、土井邦雄(東大)、尾崎 博(東大) (18 名)

#### 議題

##### I 議事録の承認

第 2 回議事録(平成 11 年 10 月 15 日)が一部を修正して承認された。

##### II 報告並びに協議事項

##### 1. 西の各獣医学科の再編の状況説明。

最初に 3 年間にわたる西の再編の総括を委員長がした。

鳥取： 交渉は学部長が認めている。

山口： 無条件で交渉してよいと農学部から認められた。

宮崎： 四校などの条件をつけずに、マイナス概算を決めている。教養部から人を連れていくぶんにはよい。

鹿児島： 現学部長の間は動けない。

##### 2. 東の各獣医学科の再編の状況説明。

総括：

平成 10 年 5 月： 獣医学科教育改善の努力をする。将来部局化可能の大学に学部を作る。東北大学に決定。

平成 10 年 7 月： 東北大学農学部長と医学部長に会った。

平成 10 年 9 月： 各学長が獣医学部案には反対しないが、四大学が学長レベルで決めてから、足並みをそろえて総長に会うことになった。この結果、学科長レベルでは総長と会見することが不可能となった。

平成 11 年 4 月： このときまで、各大学で再編は取り上げられず。

平成 11 年 5 月： 帯広以外では、正式の機関を通じて議論が可能となる。

帯広： 11 年度になっても原虫研の全国センター格上げが決まるまでは獣医問題を議論しないと学長が表明(12 月末まで動けず)。

岩手： 既存の獣医学部設置委員会では獣医学科は大学を離れて設置すると決定。国公立

大学獣医学協議会の案をそのまま教授会に出したが、教授会で異論が出て新たな委員会を設置して再度議論することになった。自助努力案から始めることになる。

農工： 自助努力案が店晒しの状態である。

岐阜： 9月に自助努力案が決定。他学科から25-27名の教官が移籍する案、現在10-15名移籍する案で検討している。

3. 自助努力組の再編の状況説明。

北大： 議論の段階で具体案なし。

東大： 13回委員会を開いて検討中。臨床教育が問題。医学部教官が学部に講義というユトレヒト大学方式も考えている。

府大： 農学部全体が重点化。獣医は現在の15研究室を18研究室を増やして教授を3名増員するために、現在の教官数59名を54名に減ずる。学生40名の60%の大学院生数を目指す。インターン制(15-20万円)10名程度。

III その他

1. 次回開催日時

未定

#### 第4回科研費総括担当二班委員会議事録

日時： 平成12年8月18日(金) 13:00-15:30

場所： 東京大学農学部7号館(405号会議室)

出席者： 委員長： 徳力幹彦(山口大)

委員： 山田純三(帯畜大)、梅村孝司(北大)、内藤善久(岩手大)、小野憲一郎(東大)、本多英一(農工大)、原田悦守(鳥取大)、植村興(大坂府大)、種池哲朗(酪農学園大)、酒井健夫(日大)、政岡俊夫(麻布大)、唐木英明(東大)、局博一(東大)、土井邦雄(東大)、尾崎博(東大)(15名)

議題

I 議事録の承認

第3回議事録(平成12年2月4日)が一部を修正して承認された。

II 報告並びに協議事項

1) 各獣医学部・獣医学科の再編の状況説明。

帯広： 学長が自助努力案を模索することを決定した。

北大： 自助努力の一環として、平成13年度の概算要求で国際獣医学専門大学院を学部より提出した。

岩手： 今後、岐阜大と農工大と連絡を取り合い、今後の対応を協議することとした。

東大： 専門大学院の平成 14 年度概算を目指す。

農工： 具体的な動きはない。

岐阜： 欠席

鳥取： 農学部から九大との交渉は正式には認められていない。

山口： 農学部で「九大獣医学部案がでてきたら、前向きに検討する」という決議をもらった。

宮崎： 欠席

鹿大： 欠席

府大： 教授を 18 人に増員（定員は 59 人から 54 人に減）して部局化する。

私立各校： 麻布と日大ではすでに施設を充実、他校も目指している。

2. 帯広大学獣医学科における再編整備の方針決定に伴って、平成 9 年 4 月の国公立獣医学協議会で決定された決議（東と西の地方大学 4 校がそれぞれ学部を目指し、他は自助努力する）の変更を議論した。その結果、10 月に開催される国公立獣医学協議会で、これを議論することとした。

### III その他

#### 1. 次回開催日時

未定